

平成 2 3 年行政事業レビューシート (厚生労働省)										
事業名		がん専門医臨床研修モデル事業費			担当部局庁		健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		平成 2 1 年度～ 2 2 年度			担当課室		総務課がん対策推進室		がん対策推進室 鷲見 学	
会計区分		一般会計			施策名		Ⅳ-3-7 健康づくりを推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		がん対策基本法第14条			関係する計画、通知等		「がん対策推進基本計画」 「平成22年度がん専門医臨床研修モデル事業の実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		本事業は、放射線療法、化学療法、手術療法、緩和医療及び病理診断等の分野において、がん医療に専門的に携わる医師の不足を解消し、全国におけるがん医療水準の均てん化を推進していくため、都道府県がん診療連携拠点病院において、若手医師をがん専門医師として育成するためのモデル的な研修体制を構築するとともに、その効果について検証することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		厚生労働大臣の指定するがん診療連携拠点病院の中でも先導的役割を担う都道府県がん診療連携拠点病院から15箇所程度を選定し、優れたがん専門医師の育成を図るためのプログラム策定及び若手医師に対する臨床研修を先駆的事业として、平成21年度、平成22年度の2か年で行う事業。この各拠点病院における研修結果を基に、どのような育成プログラムががん専門医を育成する上で効果的であるのかを検証し、他のがん診療連携拠点病院へ指導・反映させることにより、各拠点病院におけるがん専門医の育成について、より効率的な育成を図ることができる。 【補助率】1／2 【がん対策基本法】 第14条 国及び地方公共団体は、手術、放射線治療、化学療法その他のがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の育成を図るために必要な施策を講ずるものとする。								
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算		384	404				
			補正予算							
			繰越し等							
			計		384	404				
		執行額			333	368				
		執行率 (%)			86.7	91.1				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		本事業は効果的な研修体制を構築する目的のものであり、定量的な目標設定は困難である。			成果実績	—	—	—	—	—
					達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		事業を実施したがん診療連携拠点病院数			活動実績 (当初見込み)	件	—	17	14	—
							—	—	()	()
単位当たりコスト		26,886,786 (円／実施病院数)			算出根拠	全体への補助額(376,415,000円)を実施病院数(14件)で割った。				
平成 2 3 ・ 2 4 年度 予算 内 訳	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
					—					
	計									

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		支出先・使途の把握については、事業完了後提出される事業実績報告により把握。 平成22年度限りの事業廃止。	
予算監視・効率化チームの所見			
		-	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
		-	
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

厚生労働省

376百万円

がん専門医臨床研修モデル事業が、適切に遂行できるよう、交付要綱に基づき補助金の交付を行っている。



【補助】

A 都道府県がん診療連携拠点病院(14病院)

376百万円

がん専門医臨床研修モデル事業の実施

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.(公財)癌研究会有明病院			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	研修指導医、研修医、事務補助員	86			
その他	情報収集及び学会等出席旅費	－			
	※補助金額以上に支出している				
計		87	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)癌研究会有明病院	がん専門医臨床研修モデル事業の実施	65		
2	(独)国立病院機構九州がんセンター	がん専門医臨床研修モデル事業の実施	56		
3	千葉県がんセンター	がん専門医臨床研修モデル事業の実施	49		
4	大阪府立成人病センター	がん専門医臨床研修モデル事業の実施	30		
5	静岡県立がんセンター	がん専門医臨床研修モデル事業の実施	28		
6	和歌山県立医科大学付属病院	がん専門医臨床研修モデル事業の実施	28		
7	奈良県立医科大学付属病院	がん専門医臨床研修モデル事業の実施	28		
8	栃木県立がんセンター	がん専門医臨床研修モデル事業の実施	25		
9	国立大学法人大分大学医学部付属病院	がん専門医臨床研修モデル事業の実施	18		
10	国立大学法人高知大学医学部付属病院	がん専門医臨床研修モデル事業の実施	16		